

【消費生活用製品安全法に基づくトヨトミからの報告】

■重大製品事故一覧

■重大製品事故一覧					更新日	2024年11月28日 (令和6年)	
管理番号	事故発生日	製品名	機種・型式	事故概要	公表日	被害状況	発生場所 〇〇県
A202200093	2022年4月30日 (令和4年)	電気ストーブ	ESHT-802	<p>店舗で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。調査の結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使用者によると、当該製品は約15年前に購入したものと申出内容であったが、本体表示から1985年9月製造の製品であることが判明した。 ○当該製品の電源コードは、電源プラグが改造されていたが、発熱痕、断線等の出火の痕跡は認められず、使用者によると購入以降、電源プラグを修理した覚えはないとの申出内容であった。 ○当該製品内部の電気部品及び配線類は、本体下部にある首振りモーター部及びスタンド付近の焼損が著しく認められたが、その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。 ○当該製品の首振りモーター部において、首振り機構に組み込まれている金属製のロッド及びストップ用スプリングが確認できなかった。 ○スタンド内部は、本体側に至る電源コードが断線し溶融痕が認められ、カシメ部近傍の芯線に一部ばらけたような状態が認められた。 ●当該製品は、手動首振り角度の固定部品がないために設定以上に手動首振りができるようになり、カシメ部に外力がかかって接触不良が生じた異常発熱又は長期使用(約36年)によって配線被覆が劣化したことによる配線の短絡により、出火に至ったものと考えられるが、事故発生以前の詳細な使用状況等が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。 	2022年5月17日 (令和4年)	火災	北海道
A202200714	2022年11月29日 (令和4年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-91	<p>当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災事故が発生した。当該製品に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	2022年12月16日 (令和4年)	火災	山口県
A202200792	2022年12月21日 (令和4年)	石油ストーブ(密閉式)	FF-35A	<p>当該製品を焼損する火災が発生し、2名が軽傷を負った。当該製品に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があり、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	2023年1月11日 (令和5年)	火災:軽傷 2名	北海道
A202200793	2022年12月20日 (令和4年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-260	<p>当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が死亡した。当該製品は、カートリッジタンクが本体から外された状態であったことから、当該製品への給油中に事故が発生した可能性が考えられるが、当該製品を確認できず、事故発生時の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。</p>	2023年1月11日 (令和5年)	火災:死亡 2名	岡山県